

政が厳しいために予算の範囲内で対応するとの答弁でした。

**防犯灯設置事業**について、21年度の当初予算がゼロ査定となったことについて確認すると、担当部署としては防犯対策としての観点から重要であると考え、昨年同様100灯の予算要求をしたが、厳しい予算状況から予算査定においてゼロになったというもので、市長の考え方については、地球温暖化対策として洞爺湖サミットで出ていたライトダウンキャンペーンの観点から、防犯灯はやめて夜間に出られる時には懐中電灯等を利用していただきたいというものであり、委員からはライトダウンキャンペーンの趣旨と防犯灯の趣旨とは違うということや施政方針にも示されている安全・安心のまちづくりの観点から、設置の要望がなされています。

員については幼児園に配置したとのことです。

**公民館長の配置状況**について、現在北部公民館長は中央公民館長が兼務、善防公民館長については3月末で退職ということ、今後の運営方針について確認すると、地域密着型の公民館運営も大事かもしれないが、教育委員会の基本的なスタンスとしては、社会教育機関としての公民館活動は特定の地域だけにとらえられることなく、四つの公民館が連携して、全市域を見据えた公民館活動をしていきたいとのことです。

**社会福祉協議会の福祉バス廃止**について、年間100件程度の利用があり、代替案については社会福祉協議会において21年度より活動助成制度をつくる予定で、それをバスの借り上げに充当することも可能とのことでありました。またバスの利用状況について精査を求める意見が出されています。

**シルバー人材センターへの補助金の減額**について、これまで基準に合わせて補助金を出してきたが、事業仕分けにより不要となったこと、現在シルバー人

材センターに余剰金があることから、150万円を減額したとのことです。委員からは大きな蓄えがあるが、補助金を出さないといけない体制なのかとの質問がされ、国からも同額の補助金が出されており、市が極端に減らすと国からも同様に減らた

め、協議した結果であるとのことでした。

**マツタケ山再生事業**について、どのような効果を上げるためにどのようなフォローをしていくのかとの質問があり、10万円を補てんすることにより何とか荒廃した里山に近いところを整備してもらおうきっかけづくりになればとのことでした。また、里山整備の面積要件について質問があり、10万円との積算をする中、面積は決めにくいとの答弁がありました。また、趣旨がクリアできるのであれば執行者の成果を上げようとする約束を認めて、厳しくチェックすべきではないかとの意見も出されました。さらに、これだけの財政難のとき、1カ所に10万円を投入してそれ以上の効果を求めることは無理があり、大きな希望や夢を持つのはいいかもしれない

が、本当にどれだけの効果があるのか等、多くの意見が出されました。

以上のような観点から、マツタケ山再生事業100万円減額する修正案が提出され、採決の結果、5対3の賛成多数により可決をしています。また、その際、市長が採決の前に退席されたことに対し、委員から抗議の声が出ました。

**平成21年度国民健康保険特別会計予算**

特定健診の受診率向上に向けての取り組みについて、特定健診の実施計画書を策定し、最終的には24年度に65%の受診率を確保しないとペナルティがあるため、徐々に上げていくように計画をしているとのこと。もう少し自分の身近なところで健診が受けられるようにならないかとの質問があり、以前のように農協の支所単位でまちぐるみ健診を行うことは難しいが、あらゆる手だてを講じて意見、要望を聞きながら対策を講じたいとのことでした。

**平成21年度病院事業会計予算**

多くの医師に辞めずにいていただき、新しい医師に来ていた

だくための魅力づくりのためのポイントについては、機材購入費において最新の満足いく医療ができるようにしていること、医師の学会出張の増、医師の業務支援の充実等とのことで、医師については7名の確保を見込んでいるとのこと。

加西病院を市民に支えてもらうための啓発について、昨年の病院フォーラムの反省点として、対話形式等を検討することや、アステリアかさい、イオン等で関係職が健康講座を行い、病院に愛着、親しみを持ってもらうソフト事業を検討しているとのことでした。

医薬品の購入について単価を下げる努力や他の公立病院との共同購入の可能性について、現在は単独で最適化の努力をしており、旧来は個別にいろいろな業者からばらばらに購入していたものを、間に商社を入れまとめて購入することで安く購入しているとのこと、共同購入については東播地域で協議しているが、加西病院が一番安い状況とのことでした。